

R-18
FOR ADULT ONLY

FALL IN ECSTASY





346プロ所属のアイドルとして
日々アイドル活動をしている新田美波。
彼女はアイドルであると同時に
ラクロス部に所属する大学生でもある。
美波は他大学のラクロス部との
男女合同練習会に参加し、
その打ち上げに参加することになった…



『新田美波ちゃんだよな？
アイドルやってるんだって？』

「え、あつ…はい
でもまだ全然売れてなくて…」

『美波ちゃんカワイイから
すぐ人気出るよ♪』

『本当ですか？
ありがとうございます♡』

『よかつたら握手して
もらえないかな？』

『いいですよ♡』

『うわー初めてアイドルと
握手しちゃった♡』

『ね、俺とも握手してよ♡』

『はい♡』

『美波ちゃんありがとう
一生の思い出にするよ♡』

『もう…そんな大げさですよ♡』



『じゃあ、ちよつとだけ…』

『あつ…これ美味しい♡
これゴクゴクいけますね♡』

『女の子みんなそれ大好きなんだよね♪
まだあるからドンドン飲んでよ』

『ありがとうございます♡』



『そんなことないって
きつと将来自慢できるよ♡』

『えへへ、ありがとうございます♡』

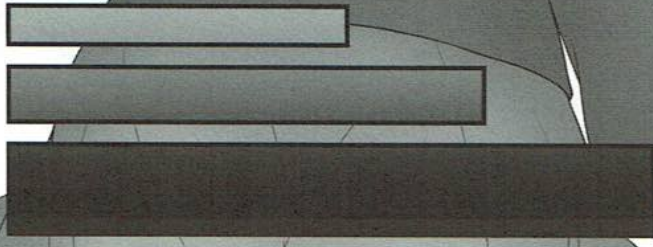
『ところで美波ちゃん打ち上げ楽しんでる？
グラス空いてるけどお酒取つてごようか？』

『あの…アルコールはあまり得意じゃなくて』

『それじゃこれ飲んでみなよ』

『でも…』

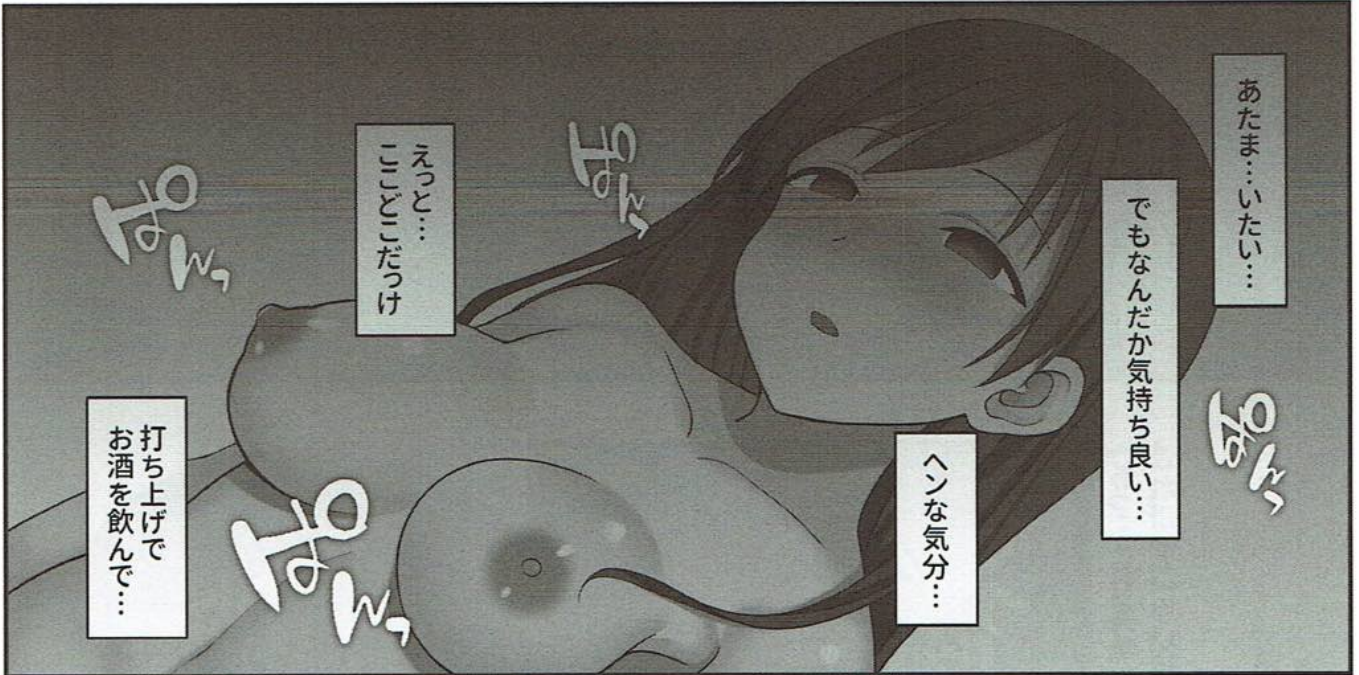
『ジュースみたいな感じだからさ♪
お酒飲めないも美波ちゃんも楽しくないでしょ？』





あれ…
なんが揺れてる？

ん…っ



あたま…いたい…

でもなんだか気持ち良い…

へんな気分…

えっと…
「こごと」だっけ

打ち上げて
お酒を飲んで…



えっ…？

「な、なにっ!？」

え？

えっ？

なにこれ…っ!？」

『あ、美波ちゃんおはよう♡』

『なにしてるんですかっ!』

『なにっって…』

『セックス♡』

『やっぱり起きてるほうが
マンコ締まってやべえわ』

『チヨ—気持ち良い♡』

『ちよっ…やめてっ!』
やめてくださーいっ!』

『こんなことしていいと
思ってるんですかっ!』

『美波ちゃん冷たいなあ
オレたち昨日何回もハメハメして
気持ち良くなった仲じゃん♥』

「ば、バカなこと言わないでくださいっ!
お酒飲ませて意識なくしてる人に
乱暴していいと思ってるんですかっ!?!」

『あちやく…
意識だけじゃなくて
記憶もトンじやったみたいだね』

『お酒で意識がなくなっただんじやなくて、
俺たちの肉便器になって気持ちよすぎて
気絶しちゃったんだよ♥』

「に、肉…!?!
え?
えっ?」

あれ…?

『よく思い出してみたって
美波ちゃんの痴態っぷり
マジでエロかったよ♥』

えっ…

毎日オナニーしてる
淫乱アイドル美波ちゃん♥

嘘…

「ちんぽ…♡ ちんぽ…♡
ちんぽ気持ち良い♡」

「美波ちゃんチンポ好きすぎっしょW
そんなにエッチ好きなの？」

「エッチ…大好きです♡
だから毎日オナニーして慰めています…♡」

「毎日オナニーって性欲強すぎでしょW
W 彼氏とはエッチしないの？」

「今はどの…彼氏とかいなくて…
それに付き合う人みんなエッチが下手で
すぐ醒めちゃうっていうか…」

「オレ達とのエッチはどう？」

「んっ♡ んぶ♡ じゅぶぶ♡
皆さんのちんぽ遅しくて
すごく気持ち良いです♡」

「輪姦されてノリノリで腰振ってちんぽ啜えるなんて
美波ちゃんってとんだ淫乱アイドルだねW W W」

「はい…美波は淫乱アイドルです…♡♡♡」

「じゃあ今日はオレ達がいっぱい
淫乱な美波ちゃんを気持ち良くしてあげるね♡」

「えへへ、ありがとうございます♡」

『美波ちゃんの口の申すげえ気持ち良い』

『やべっ…出るっ!』

『オレも出すぞッ』

「すごい…特濃ザーメンが
顔にも口にもたっぷり…♡♡♡」

『ふう…アイドルの口マンコたまんねえ』

「このザーメンのクラクラする匂い…
呼吸するだけでイッちゃいそう♡」

『それなら
イかせてやるっ!!』

ぎゅんっ

「あっ♡
あっ♡
あああっ♡
もっ…もっ♡
突いてくだひゃい♡♡♡」

『オラオラオラっ!
この淫乱アイドルがッ!!』

「おっ♡ おっ♡ おぐう♡
イキまひゅ♡ イク♡ イクっ♡
イッちゃいましゅうう♡♡♡」

「はあはあ…♡
こんなに気持ち良いセックス初めて…♡
ちんぽで初めてイッちゃいました♡♡♡」

『よかったね美波ちゃん♡
次は俺のチンポで気持ち良くしてあげるね♪』

おはねおねおね

おはねおねおね

おはねおねおね

『おほっ
美波ちゃんのマンコめっちゃ気持ち良い』

『あっ♡ ほっ♡ あっあっあっ♡
私も…嬉しいチンポで突かれて
気持ち良いです♡』

『すんげえ吸い付きで
ザーメン搾り出そうとしやがる…
淫乱アイドルにピッタリの淫乱マンコだな』

『あんの♡
ありがとう♡』

『やべえもう我慢できねえ
美波ちゃん俺のチンポ啜えてくれッ!』

『ぶあに♡♡♡』

『んっ♡ んっ♡ んぐう♡ んぶぶぶぶ♡
(回もマンコも突かれて苦しいのに感じちゃう♡)』

『美波ちゃんのちっちゃな口めっちゃ気持ち良い…
やべっ…フェラなのにもう出そうWW』

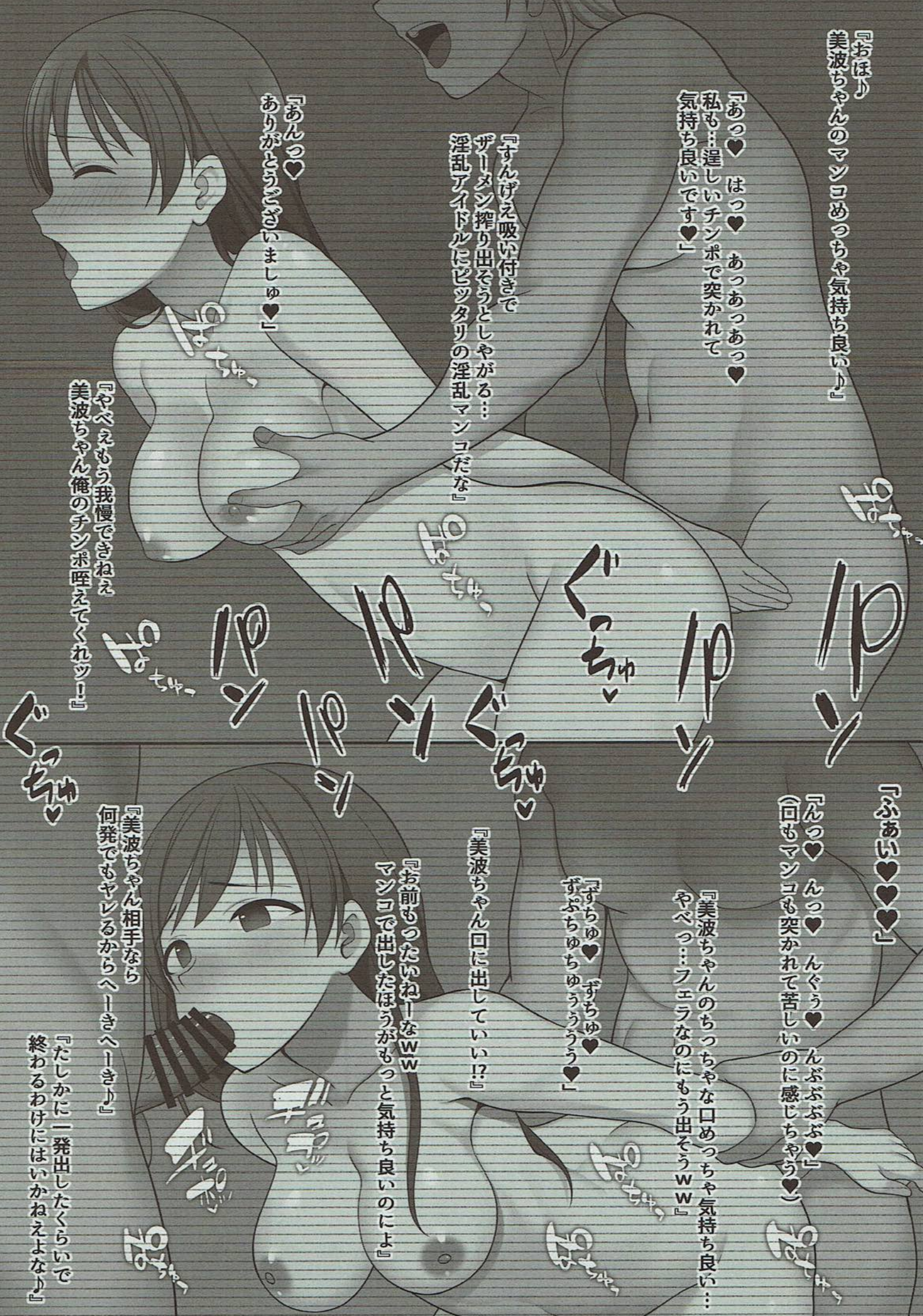
『ずちゅ♡ ずちゅ♡
ずぶちゅちゅううう♡』

『美波ちゃん回に出していい!?!』

『お前ものたねーなWW
マンコで出したほうがもっと気持ち良いのによ』

『美波ちゃん相手なら
何発でもヤレるからへーきへーき!』

『たしかに一発出したくらいで
終わるわけにはいかねえよな!』



『すげえ顔WWW
これが本当にアイドルかよWWW』

WWW

WWW

WWW

WWW

『あーやべえ…イクっ!!』

『んっ♡』

『んっ♡』

『あーやべえ…イクっ!!』

『美波ちゃん俺もロマンコに出すよっ』

『あっ♡』

『オラっイクぞっ!!』

『あが…♡』

『んっ♡ んぐぐ♡』

『んん…♡♡♡♡』

ドム
ドム
ドム

ドム
ドム
ドム

ドム
ドム
ドム

『美波ちゃん今度は俺の番ねっ』

『んん…♡♡♡♡』

ドム
ドム
ドム

『キツキツマンコたまんねえ…
射精すぞツ!!』

「おっ♡おっ♡
ん…おっおおお」

『美波ちゃん美人だし
マンコの締まり良いし
マジで最高の肉便器だわWWW』

は—♡
は—♡
は—♡

「あっ…あひぶ…
ありがとう♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡」

『次誰やる?』

『じゃあ俺やるわ』

『んじゃその次はオレな』

『お前さつき出したばかりだるWWW』



『美波ちゃんどう…？
本当の自分の姿思い出した？』

「あんなの嘘よ…
あれはお酒のせいで私の本当の
姿なんかじゃない…っ

あんな…あんなわけ…っ

あっ♡…ん♡」

『くくく…
なんだかんだ言いながら
やっぱり感じてるじゃんWWW』

「ちーちー違います…！
感じてなんて…
気持ち良くなんて…っ！」

『まの……それが本当の美波ちゃんかは
ゆでればすぐわかるっ…っ！しよ！！』

「あひひいいいい♡」
(これ…私の声なの？)

「おっおっおっ♡
おおおお♡ おほおお
(こんな下品で獣みたいな声が…？)

『やっぱり感じてんじゃんWWW
よっぽど淫乱じゃなきゃこの状況で
そんな風を感じないってWWW』

「違う…感じるワケない…っ！」

『美波ちゃん強情だなあ…
じゃあこれならどう?』

「あつ♡あつ♡ あひい♡
ひっ♡ ひぐっ♡ ひうっ♡」

『おほWすげえ締め付けW』

「ふっ♡ふっ♡ふっ♡ふっ♡
うっうっうっうっうっ♡♡♡♡」
(奥グリグリされて頭おかしくなる♡)

あ♡

あ♡

あ♡♡
あひい♡

あ♡

(認めたくない…認めたくないのに…体が悦んでる♡)

すごくキモチイイ♡♡♡

んあ♡あああ♡
あああ♡

おあ♡おあ♡
おあ♡おあ♡

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

あ♡

あ♡

あ♡

あ♡

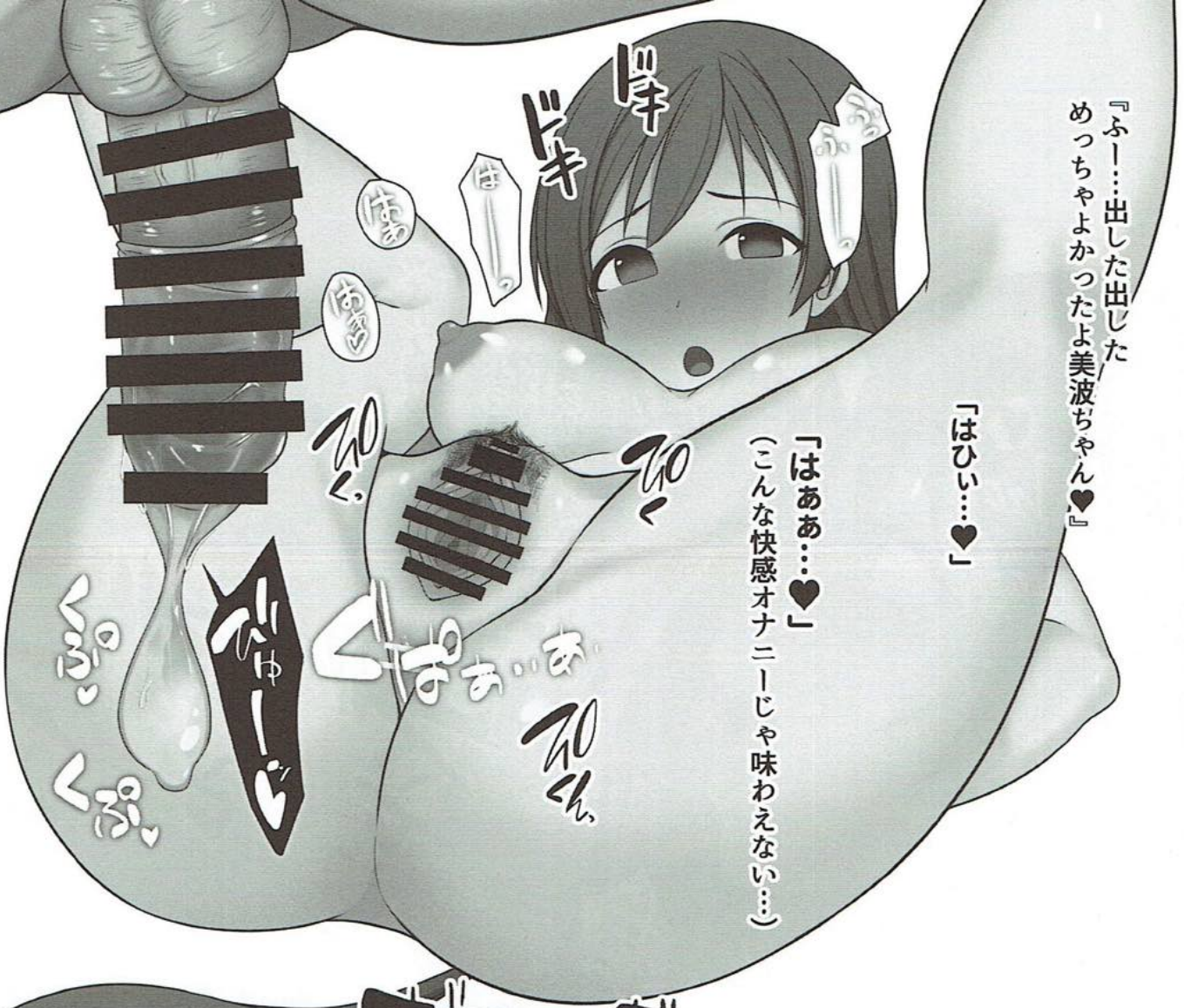
あ♡

あ♡

『ふー…出した出した
めっちゃよかったよ美波ちゃん♡』

「はひい…♡」

「はああ…♡」
(こんな快感オナニーじゃ味わえない…)



『次オレな♪
…ってもうゴムないじゃん』

『俺らただでヤッてんだよWWW』

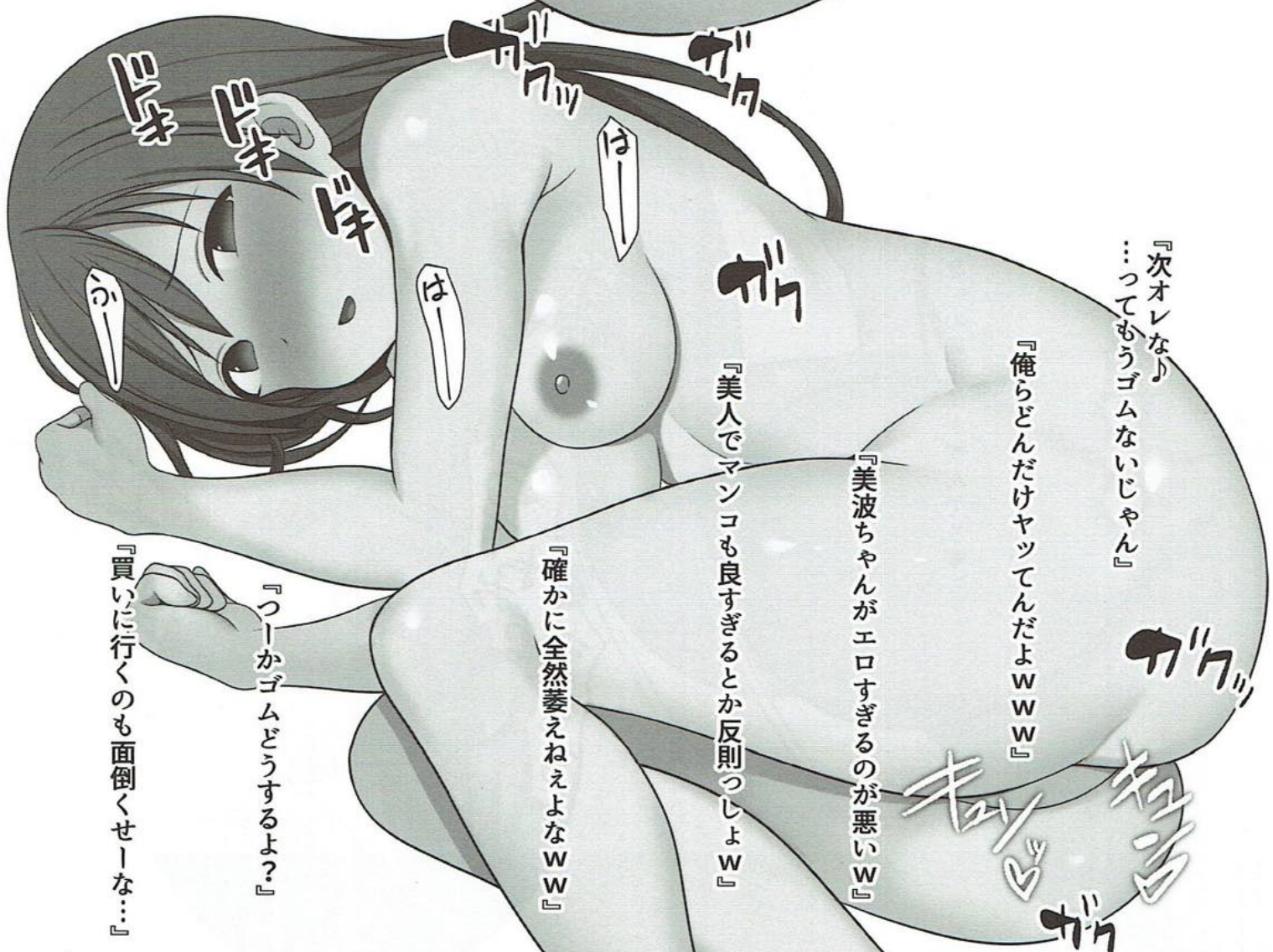
『美波ちゃんがエロすぎるのが悪いW』

『美人でマンコも良すぎるとか反則っしょW』

『確かに全然萎えねえよなWWW』

『っーかゴムどうするよ?』

『買いに行くのも面倒くせーな…』



『もうこのまま
ナマでハメていいよね』

『大丈夫だからで
外に出すから…さっし!!』

『あーやっぱナマのほうが
もっと気持ち良いわ』

ま...
待って
生はダメ!!

おっ

ズ
ズ
ズ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

『美波ちゃんもナマのほうが
ずっと気持ち良いでしょ?』

『そ、そんなことはないです...
お願いですからゴムを...』

『こんなにチンポ締め付けてさ
アナルもひくつかせてそんなこと言っても
説得力なんてないよ美波ちゃんWW』

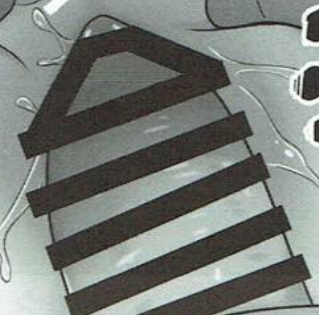
WTF

おっ

おっ

おっ

おっ



『あーたまんねえ
アイドル生ハメ最高り♥♥♥』

『生チンポで私のナカ掻き回されてる…』

『お腹の中でチンポの形がはっきりわかる…
こんなのダメなのに感じちゃう♥』

『生ハメマジやべえ
もうイキそWWW』

『美波ちゃんイクよ!』

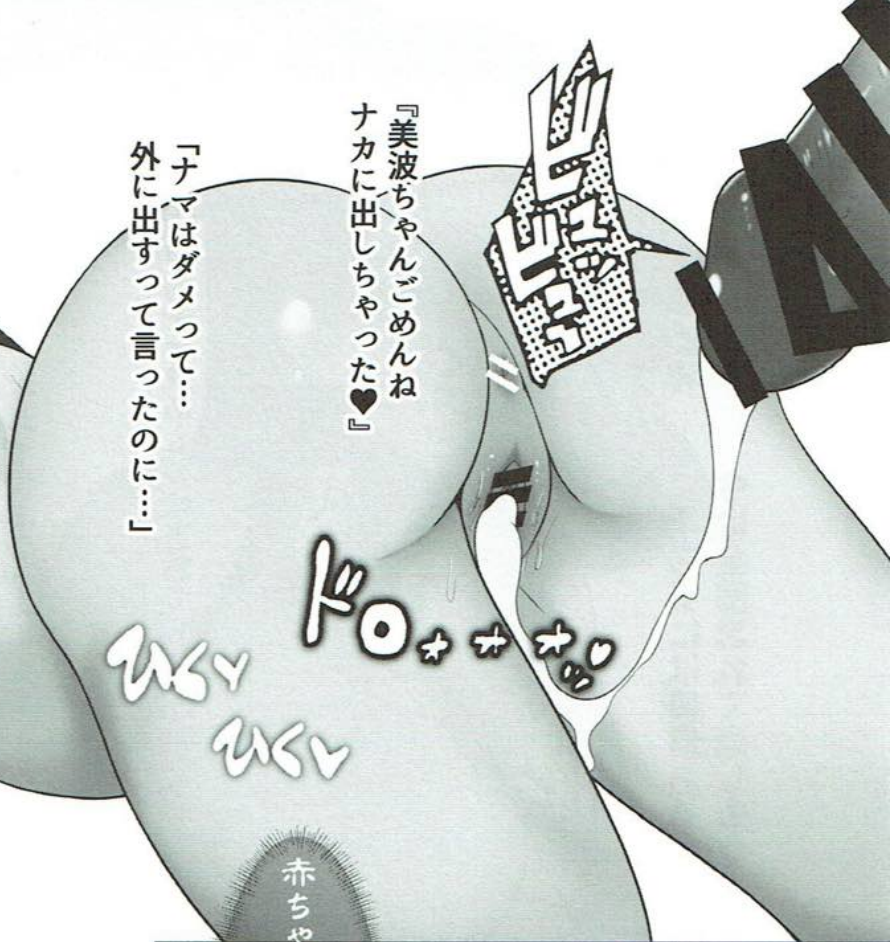
『え…お腹の中すごくアツいのが…
(もしかしてナカに…ッ!?)』





(そんなひどい……)

『オマンコ気持ちよすぎてつい出ちゃった♥』



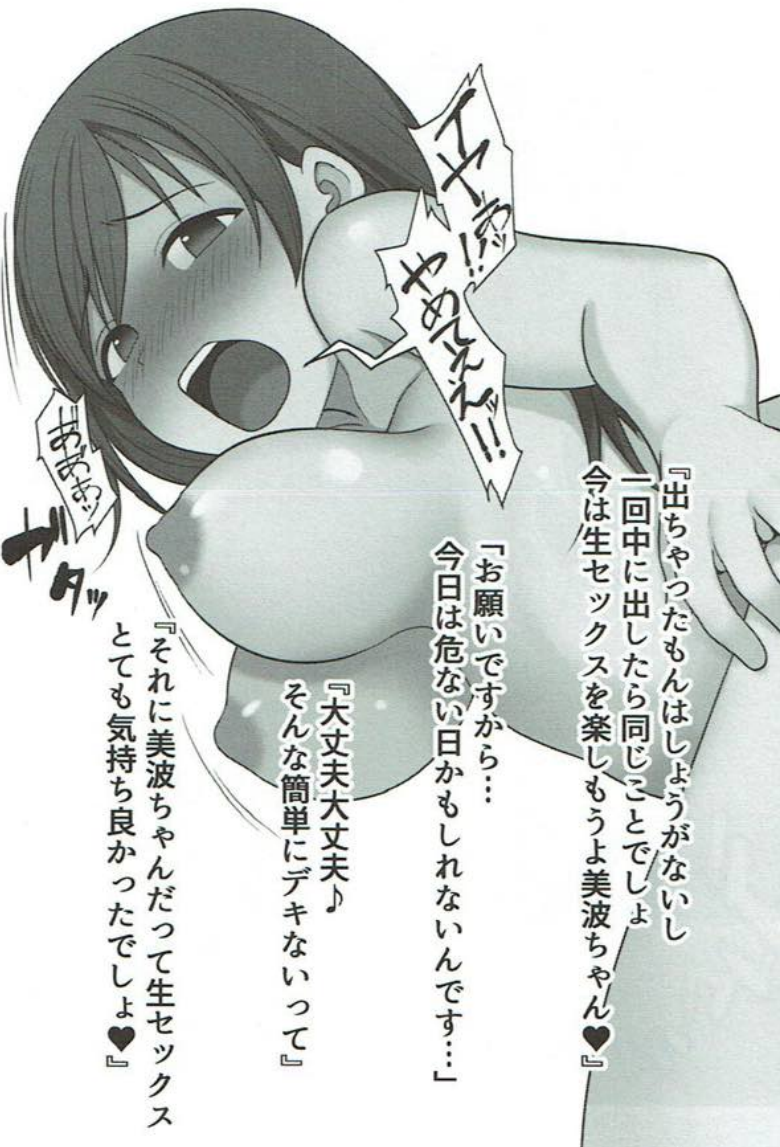
『美波ちゃんごめんね
ナカに出しちゃった♥』

「ナマはダメって…
外に出すって言ったのに…」

赤ちゃんデキちやうかも



『じゃあ美波ちゃん
今度はオレが挿れるね♪』



「お願いですから…
今日は危ない日かもしれないんです…」

『大丈夫大丈夫♪
そんな簡単にデキないって』

『それに美波ちゃんだって生セックス
とても気持ち良かったでしょ♥』

『出ちゃったもんはしょうがないし
一回中に出したら同じことでしょ
今は生セックスを楽しもうよ美波ちゃん♥』

「ナマはダメ…ダメなのに…
あっ♡ はあん♡」

『さっそくメスの顔になつてるじゃんW』

「これは違う…違うのお♡」

『女は中出しされて悦ぶように出来てんだよ』

『メスがオスの精子を求めるのは当然でしょ？』

『俺エッチには自信あるから
今は全部忘れて楽しんで♡』

中出しされて赤ちゃんが
デキちゃうかもしれないのに

イケナイことなのに
気持ち良い♡♡♡

あんなに気持ちいい♡♡♡

あんなに気持ちいい♡♡♡
あんなに気持ちいい♡♡♡
あんなに気持ちいい♡♡♡

ドキドキ
んぎゅい
はあぁぁぁぁぁ
あんなに気持ちいい♡♡♡
あんなに気持ちいい♡♡♡

『アクメしてるとこ悪いけど俺まだイッてないんだよね』

「まつ…まつへえ♡
いまイッたばかりだから…♡
いま動いたら…♡」

「頭おかしくなっりゃ♡♡♡♡♡」

『絶頂マン』の気持ち良キマジパネエッ
美波ちゃんのマニコがサーメン欲しがって
チンポに絡みついて離さねえ』

(下から突き上げられるたびに♡
目の前がチカチカする…♡
体がチンポ欲しがってる♡♡♡)

「チンポ♡」

「チンポしか考えられない
バカ女になっちゃう♡♡♡」

「ちんぽ♡」

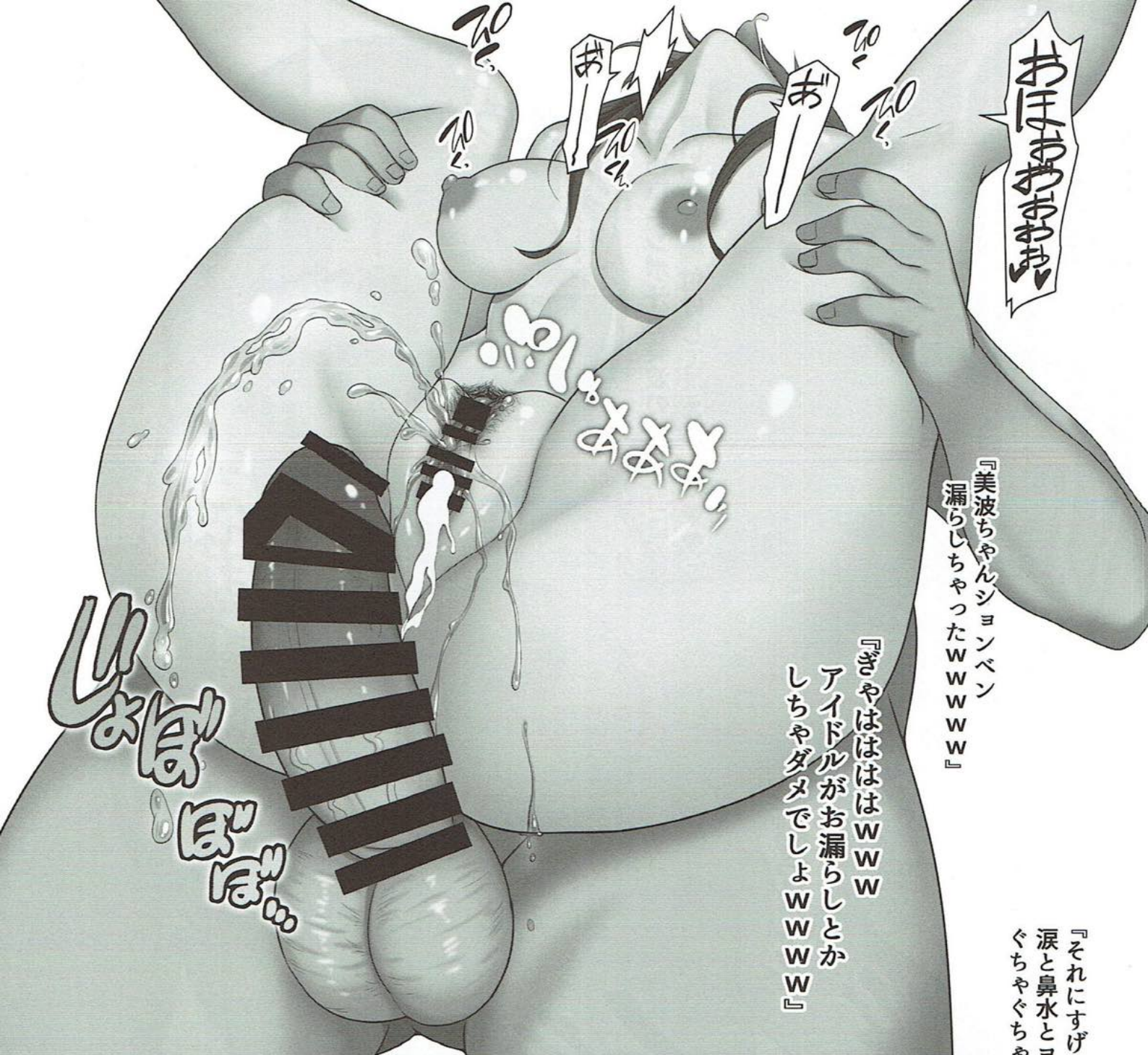
「ちんぽ♡♡♡」

『美波ちゃんナカに出していい!?!』

くぽあ、

「いいでしゅ♡」

美波のオマニコにサーメンいっぱい
ビュッビュッしてくだひゃ♡♡♡



『それにすげえ顔WWW
涙と鼻水とヨダレで
ぐちゃぐちゃW』

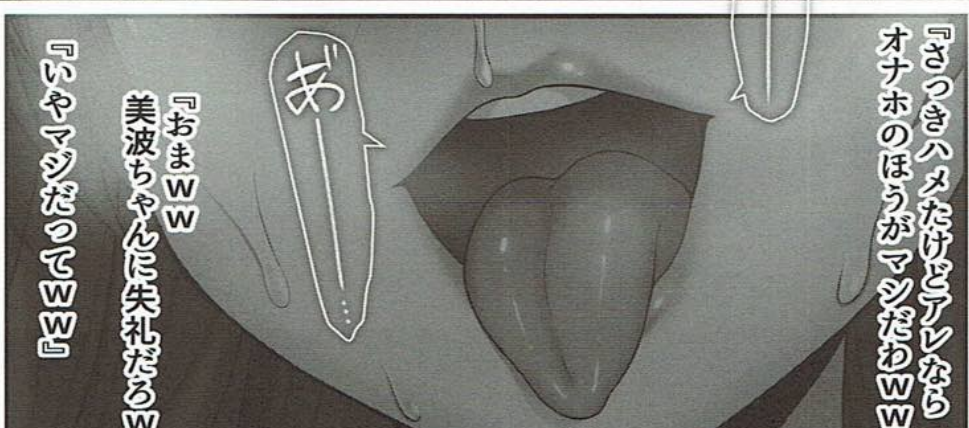
『美波ちゃんションベン
漏らしちゃったWWWW』

『ぎやははははWWWW
アイドルがお漏らしとか
しちゃダメでしょWWWW』



『また完全に意識が
トーンでるじゃんWWWW』

『誰かこのままやるの?』



『おまWWW
美波ちゃんに失礼なるW
イヤマシだのてWWW』

『じゃあどうするよっ?』

『そもそも美波ちゃん一人で
この人数相手は無理っしょWWW』

『じゃあ美波ちゃんのスマホで
他のアイドル呼び出すか』

『お前天才かよWWW』

『どうやってスマホ使うんだよ
ロックかかかってるべ』

『美波ちゃんの誕生日入れたら開いたWWW』

『アイドルなのにザルすぎでしょW』

『てかアーニヤちゃんって子から
何回も連絡きてるんだけどWWW』

『マジだWWW美波ちゃんのこと
めっちゃ心配してんじゃん』

『このアーニヤちゃんって子もアイドル？』

『調べたらアナスタシアって名前前で
ロシア人とハーフのアイドルらしいW
しかもめっちゃカワイイWWW』

『ハーフの子と一回ヤツて
みたかったんだよねWWW』

『この子なら呼び出せば簡単に来るんじゃない？』

『じゃあアーニヤちゃんを
呼び出すってことでW』

『さっそく返信するわWWW』

『やべーめっちゃ楽しみだわWWW』

こんにちは。柊はじめです。
お手にとっていただきありがとうございます。
本来は美波のおねショタ本の予定だったんですが、
諸事情により輪姦陵辱本と相成りました。
仕事や原稿の修羅場のストレスをこの本にぶち撒けた感じです。
おねショタ本はまたいつかリベンジしたいですね。
次のイベント参加はCOMIC1の予定です。
FGOやアズールレーンも興味があるんですが…。
夏コミまではデレマスで参加しようかなと今のところ思っています。
実際デレマスで参加するかはわかりませんが、
また是非どこかで新刊を手にとって頂けると嬉しいです。
pixivやtwitterもよければ覗いてやってください。
それでは皆様良いお年を！

【誌名】fall in ECSTASY
【著者】柊はじめ
【発行元】Re:Cre@tors
【発行日】2017年12月31日
【連絡先】recreators1990@gmail.com
【印刷所】プリンティングイン株式会社
pixiv FACTORY BOOKS



FALL IN ECSTASY